

日本ビオトープ管理士会 ・ 令和7年度第2回研修会

地域経済のなかのビオトープ（第2弾）

ビオトープを活かす プラットフォームとしての地域経済

～ 地域のなかにビオトープを落とし込むための仕組みづくり～



2025年11月29日(土) 14:00-16:00

サン・アルプス大町 中会議室

主催 日本ビオトープ管理士会 信州支部

共催 日本ビオトープ管理士会
Association of Biotope Planners and Builders of Japan

協力 小谷里山研究所・環境社会システム研究所

日本ビオトープ管理士会・令和7年度 第2回研修会

地域経済のなかのビオトープ (第2弾)

ビオトープを活かすプラットフォームとしての地域経済

～ 地域のなかにビオトープを落とし込むための仕組みづくり ～

11.29(土) 14:00 - 16:00

会場

サン・アルプス大町 中会議室

〒399-0711 長野県大町市大町 1601-2

TEL 061-22-9988

南側に駐車場があります。



アクセス(自家用車)

- ・JR 大糸線 信濃大町駅(約 10 分)→サン・アルプス大町
- ・長野自動車道 安曇野 IC(約 40 分)→サン・アルプス大町
- ・上信越自動車道 長野 IC(約 60 分)→サン・アルプス大町

参加費

無料

定員 / 対象者

40 名 / ビオトープ管理士、ビオトープ管理士資格取得を目指す方、
ビオトープに関わる市民・事業者・団体・行政等

スケジュール

14:00 ～ 15:30 講演「都市と生活のビオトープを考える ～循環・対話・つながり・地歴が創り出すもの～」

平尾 勇 (株) 地域経営プラチナ研究所 代表取締役

15:30 ～ 16:00 質疑応答・意見交換

研修内容

2022 年 12 月にカナダ・モントリオールで開催された生物多様性条約第 15 回締約国会議 (COP15) で採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」のなかで、2030 年までに陸と海のそれぞれ 30% 以上を保護・保全するという「30by30」が目標として定められました。これを受けて日本では「自然共生サイト」の登録認定制度が設けられ、企業でも所有する緑地等を自然共生サイトに登録するなど、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」に向けた動きを急速に加速しています。また、自然資本や生物多様性に関するリスク・機会を評価することにより、財務的な視点から情報開示する TNFD (自然関連財務情報開示タスクフォース) の運用が始まるなど、経済活動と生物多様性に関わる社会情勢が大きく変わってきています。

今回の研修会は、地域経済の動向や分析に関して豊富な知見をお持ちの (株) 地域経営プラチナ研究所代表取締役の平尾 勇氏を講師に迎え、地域経済の現状と課題を探るための解析手法である産業連関分析について解説していただくとともに、地域にビオトープを落とし込むためのエンジンでもありプラットフォームでもある地域経済の役割や地域づくりのあり方について講演していただき、ビオトープ管理士の担うべき役割を考えます。

講師

平尾 勇 (株) 地域経営プラチナ研究所代表取締役

「経験と勘」から「対話とデータ」による地域づくりをモットーに、自治体や地経済団体等に地域経済の構造分析および政策的提言を行っている。慶応義塾大学経済学部卒業。(株) 富士総合研究所、八十二銀行を経て松本市商工観光部長を務めて現職。長野市在住。「ワインツーリズム欧州視察記」(ワインフォーラム)、「プラチナ社会を心豊かに生きる」(松本市プラチナ大学)等、講演多数。「地方創生の政策効果とデータ分析 Excel で初歩から学ぶ」(共著)。

参加申込書

日本ビオトープ管理士会
令和7年度第2回研修会

お申し込み先

日本ビオトープ管理士会 信州支部
高山光弘

E-mail: shinshu_biotop@yahoo.co.jp

FAX: 0263-28-3344

ふりがな

お名前

所属先

管理士会会員 / 信州支部会員 / 一般 / 学生

携帯電話

—

—

11月22日(土)までに上記の各事項を「お申込先」のメールアドレス、FAXのいずれかにお送りください。